



アラームの表示

アラームとは、上昇データのしきい値、下降データのしきい値、またはその両方に基づいてあらかじめ定義された条件です。Setup タブで、NAM MIB、NAM 音声監視、またはスイッチに対してしきい値を設定できます。NAM MIB しきい値、NAM 音声監視しきい値、およびスイッチしきい値の設定については、[P.3-56](#)の「アラームしきい値の設定」を参照してください。



(注)

外部 SNMP マネージャを使用して、NAM でアラームおよびイベント テーブルを設定することにより、NAM MIB 変数のしきい値を設定できます。ただし、音声監視変数のしきい値は、Catalyst 6500 NAM Traffic Analyzer だけが設定できます。

Syslog メッセージは、MIB しきい値イベント、音声しきい値イベント、またはシステム アラートに対して作成されます。次の2つのアラーム ログを表示できます。

- [NAM ログの表示 \(P.7-2\)](#)
- [スイッチ ログの表示 \(P.7-3\)](#)



(注)

スイッチ ログは、NM-NAM デバイスには適用されません。

NAM ログの表示

NAM ログには、NAM MIB しきい値と NAM 音声監視しきい値のすべてのしきい値イベントが表示されます。

ステップ 1 Alarms > NAM を選択します。

ステップ 2 [NAM Threshold Alarms](#) ウィンドウ (表 7-1) が表示されます。

表 7-1 NAM Threshold Alarms

フィールド	説明
Date	アラームが発生した日付
Time	アラームが発生した時刻
Description	アラームの説明
Variable	トリガーされたアラーム変数
Alarm Value	アラームの値
Message	アラーム メッセージ

ステップ 3 画面をクリアするには、**Clear** をクリックします。



ヒント

自動リフレッシュをオフにするには、Auto Refresh チェックボックスをオフにします。

スイッチ ログの表示



(注)

この項の内容は、NM-NAM デバイスには適用されません。

スイッチ ログには、スイッチの Mini-RMON MIB からの RMON ログ テーブルが表示されます。

スイッチの CLI、またはスイッチの Mini-RMON MIB を設定する外部 SNMP マネージャを使用して、アプリケーションからスイッチしきい値を設定できます。

アプリケーションを使用してスイッチしきい値を設定する方法については、P.3-63 の「[スイッチしきい値の作成](#)」を参照してください。

スイッチの CLI の使用方法については、『*Catalyst 6000 Content Switching Module Installation and Configuration Note*』を参照してください。

ステップ 1 Alarms > Switch を選択します。

Switch Threshold Alarms ウィンドウ (表 7-2) が表示されます。

表 7-2 Switch Threshold Alarms

フィールド	説明
Date	アラームが発生した日付
Time	アラームが発生した時刻
Description	アラームの説明



ヒント

自動リフレッシュをオフにするには、Auto Refresh チェックボックスをオフにします。

